

仕事内容

製造業のお客様に対して、製造業の現場やそれを管理するために使うシステムの提案、開発を行う SE(システムエンジニア)をやっています。営業半分、開発半分というイメージです。本拠地は東京で、たまに出張で出かけることもあります。

その仕事を選んだ決め手

この業界に入った理由は社会に貢献できるような効率的な仕組みや仕掛けを作ることに興味があったというのが建前です。本当のことを言うと本命は他業種だったので、今の会社から内定をいただいたからというのも理由の一つです。

「業界にもいろいろあって、システム一辺倒ではなくてものや実際の装置を組み合わせて考えていくのが面白いなって考えて、メーカー企業に勤めたいと思いました。その一方でミーパー部分もあって大企業に勤めることで最先端のものに常に触れることができる楽しさが魅力だと感じました。

SE職を選んだ理由は、技術者の視点から

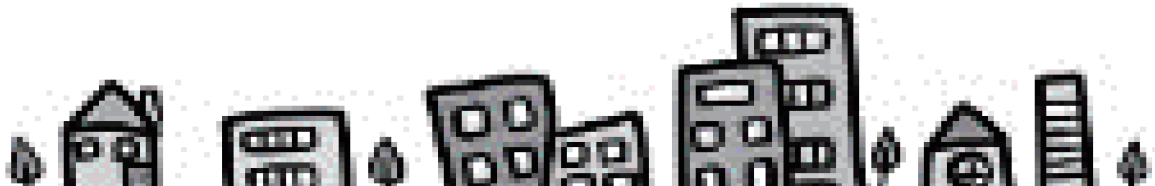
プロフェッショナルとして働きたいと思ったからです。

仕事のやりがい

最初は技術的なことがやりたくて会社に入ったんですけど、実際にはそういう仕事はあまりないんです。お客様の悩みを理解し、システムを提案して、「こういうものが欲しかったんだよ」と言われて、実際にそれを作ることができたときには「やった！」っていう達成感を感じます。こちら側が提案するだけだったら簡単ですけど、お客様が本当に必要としていることを理解することが一番難しいことでもあり、一番の醍醐味でもあります。

学生時代

大学では文系的な勉強をしていたんですけど、元々理系だったので数学の教員免許を取ろうと思いつつ数学の単位を結構取っていました。そういう意味では、会社に入ってから営業という文系的なところからエンジニアという理系的なところ



OB・OG 紹介

まで、両方やっている感じですね。

あと、サークルではないんですけど近くに
ある近畿大学の人たちと一緒にビリヤード
をやっている、それが大学生活で一番打ち込
んでいたことですね。ビリヤードの試合で近
畿大学の友達と一緒にチームで試合をした
ことは良い思い出です。八本松駅の近くの大
きなビリヤード場でやっていて、そこで近畿
大学の人たちや社会人と出会って世代関係
なく仲良くなれて、大学の外にも自分の居場
所を作れたことはすごく刺激になりました。

総科で学んで良かったこと

高校の頃から理系と文系の両方が好きで、
偏って勉強したくない、両方やってみたく
いう思いがありました。大学に入ってから理
系と文系の両方の勉強をやって、何だかんだ
言って総合科学的な視点を持ち続けられ
たのは総合科学部に入ったことがきっかけな
んですよね。いろいろな職種に就いている友
達がいることも、ほかの学部にはないもの
ですね。

学生時代にやっておいた方が良いと思うこ と

英語の勉強ですね。TOEIC の点数が高く
て損をすることはないし、それでチャンス
を与えられることもあります。日本の中だけ
働こうとしても海外に関わる機会が出てき
ます。私もあるプロジェクトで英語を使う機
会があつて、それで海外の人と仲良くなつた
り、プロジェクトの打ち上げで盛り上がった
りしました。その時の体験はこの仕事を始め
てから感動したことでもあります。

これからの展望

もっとお客様のことを理解して、何が必要
とされているかを的確に読み取り、我々がそ
れに合わせてしっかり提案、開発し、世に貢
献できるものを生み出していきたいなとい
う思いがあります。私自身まだまだ半人前だ
と思っていて、仕事の中で自分が貢献してい
るところは少ないので、もっと力量をつけて
周りとの協力していきたいです。

今の NEC の取り組みとして、システムだ
けではなくて、現場のやり方だとか在庫の管

理の仕方のようなところまでやっていく』も
のづくり共創プログラム』というものがあ
ります。その取り組みによって、ゆくゆくは日
本を製造業のシステムで盛り上げて、製
造業をもっと明るい方向に持っていきたい
と考えています。

総科生に一言

大学の中で友達作って仲良くなっていく
のも重要で、そこからさらに他大学や地元
の社会の人とつながりを持つていけたら、も
っと広い目線でものを見ることができると
思うので、そういう機会を増やしてほしいで
す。広島大学って割と閉鎖的かも知れないけ
どそこを意識するだけで、成長につながる
と思います。私自身も大学の外部とのつながり
があったからこそ今の自分があると感じて
います。

【担当】 25 生 上江洲 まどか

25 生 小林 美月

